

1. 格付結果

企業名	上海中和軟件有限公司
格付の種類	情報セキュリティ格付
格付IDコード	20000240107C0901
格付スコープ	保険システムに関するオフショア開発業務
格付対象	第2プロジェクト部
想定リスク	情報漏えい
格付符号	A ⁻ is (シングルA マイナス)
格付の方向性	新規格付
有効期間	2010年3月26日から2011年3月25日まで(交付日から1年間)

2. 格付理由

上海中和軟件有限公司(以下、上海中和)は、1991年4月に株式会社日本国際協力機構(JAIDO: 経団連 子会社)・上海復華實業株式会社(復旦大学 子会社)の出資で日中合弁会社として、ODA(政府開発援助)を活用して日本向けのSEを中国で育成することを目的に設立された。

日本向けに特化したコンピュータ・ソフトウェアの開発・生産と対日輸出を通じて順調に業績を伸ばし、2004年から毎年「上海スターソフトウェア輸出企業」として上海市からの表彰を受けてきたほか、2004年度は上海市でのソフトウェア輸出高1位、昨年度はソフトウェア輸出量が中国全土で7位に位置づけられており、中国国内有数のソフトウェア輸出企業である。

「ソフトウェア受託輸出」の仕組みと仕掛けを備えたビジネスモデルの実現のため、同社は「人財」の育成を重要視しており、最低5年、平均7年かけての「人財」育成に継続して取り組んでいる。この育成プログラムを通じ、日本語を理解できるという言葉の壁をクリアするとどまらず、日本の企業文化や風習といった根底の部分認識・理解し、日本型開発手法・日本企業文化、ISMSやISO27001規格を熟知した優秀なシステムエンジニア・社員を擁している。

同社では日本企業からのOff-Shore開発に特化したサービスの提供にあたり、品質管理面ではソフトウェア開発プロセス能力の成熟度を評価・判断する国際的な指標である「CMMI」の成熟度レ

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-10 ランディック虎ノ門ビル2階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 ISRating All rights reserved.

ベル4を2009年8月に達成している。情報セキュリティ管理の側面では2007年12月にISO27001の認証を取得し、以降2度の定期審査（サーベイランス）を受審し、マネジメントシステムの継続的な改善に取り組んでいる。

同社は「情」を留意した経営組織とすることを志向しており、管理や監視ばかりの情報セキュリティではなく、従業員が職務に責任を持ち、職務の期待に応える組織環境を作る、両方向での取り組みを重要視している。組織の信頼感、職務へのモチベーションを高めることでの情報セキュリティ管理の実現を図ることを目指している。情報セキュリティ施策の計画と推進は、統制部門である「情報セキュリティ委員会（信息安全委員会）」を通じて行っており、ISO27001を基準とした組織体制、規程、各種管理策が展開されており、専任の「情報セキュリティチーム」のもとで情報システムの利用に関する常時監視・是正指示を行うなど、高いレベルでの情報管理が行われている。

マネジメント成熟度の観点では、上海中和におけるポリシーとガイドラインのもと、情報セキュリティガバナンス体制が構築されており、人的セキュリティ、情報取扱管理・媒体管理、ウィルス・不正プログラム対策、ネットワーク管理、コンプライアンスの領域において高いレベルで管理が進められている。特に「人的セキュリティ」においては、同社の特長である充実した教育・研修制度がなされていることを確認した。また、中華人民共和国と日本両国の法令を順守するため、守るべき法令をリストアップし、評価・検証しており、Off-Shore 受託開発を遂行するための一段高いレベルでの管理態勢・対策が講じられている。

全体としては、情報セキュリティに関する基本的な文書や手順書類が整備され、それに従った管理策が実装されており、Plan、Do プロセスは概ね機能していると評価できる。

一方、Check・Action プロセスにおいては、その多くは確実に記録・評価がされ、必要に応じて再対策を講じており、基本的なPDCA サイクルは回っていると評価できるものの、いくつかの面で改善の余地があると思われる。

セキュリティ対策の強度の観点から見れば、「ウィルス・不正プログラム対策」、「ネットワーク管理」「禁止ソフトウェア管理」「アクセス権管理」の領域において高いレベルで管理策が進められており、特に、ウィルス・不正プログラム対策においては、『情報セキュリティチーム』による常時監視／モニタリング実施等、発見統制・予防統制を中心に高いレベルでの対策が取られている。

総じて、マネジメント成熟度では検証したプロセスを用いて、目標を指標化したうえで管理、実行している。また、セキュリティ対策強度の観点では、悪意のある外部者に対する管理策（発見的、抑止的、予防・防止的管理策）を織り込んでいる段階であるといえる。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 ISRating All rights reserved.